TADOKU JUNIOR 自然のふしぎ神話 ★★★☆☆ ふつう 410語

Golden-Rod and Aster

アキノキリンソウとアスター

Flora J. Cooke（1895年の本） 原文そのまま 朗読：Linette Geisel

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？ みんなをしあわせにしたいと考えたふたりの女の子は、人を何にでもかえられるという、おかの上のおばあさんをたずねていきます。

GOLDEN HAIR and Blue Eyes lived at the foot of a great hill.

On the top of this hill in a little hut lived a strange, wise woman.

It was said that she could change people into anything she wished. She looked so grim and severe that people were afraid to go near her.

One summer day the two little girls at the foot of the hill thought they would like to do something to make everybody happy.



“I know,” said Golden Hair, “Let us go and ask the woman on the hill about it. She is very wise and can surely tell us just what to do.”

“Oh, yes,” said Blue Eyes, and away they started at once.

It was a warm day and a long walk to the top of the hill.

The little girls stopped many times to rest under the oak trees which shaded their pathway.

They could find no flowers, but they made a basket of oak leaves and filled it with berries for the wise woman.

They fed the fish in the brook and talked to the squirrels and the birds.

They walked on and on in the rocky path.

After a while the sun went down. The birds stopped singing.

The squirrels went to bed.

The trees fell asleep.

Even the wind was resting.

Oh, how still and cool it was on the hillside!

The moon and stars came out.

The frogs and toads awoke.

The night music began.

The beetles and fireflies flew away to a party.

But the tired little children climbed on towards the hilltop.

At last they reached it.

There at the gate was the strange, old woman, looking even more stern than usual.

The little girls were frightened. They clung close together while brave Golden Hair said, “we know you are wise and we came to see if you would tell us how to make everyone happy.”

“Please let us stay together,” said timid Blue Eyes.

As she opened the gate for the children, the wise woman was seen to smile in the moonlight. The two little girls were never seen again at the foot of the hill. The next morning all over the hillside people saw beautiful, waving golden-rod and purple asters growing.

It has been said that these two bright flowers, which grow side by side, could tell the secret, if they would, of what became of the two little girls on that moonlight summer night.



和訳 アキノキリンソウとアスター（Golden-Rod and Aster）

ゴールデンヘア（金色のかみ）とブルーアイズ（青い目）は、大きなおかのふもとにすんでいました。

このおかのてっぺんの小さな小屋には、ふしぎな、かしこいおばあさんがすんでいました。

おばあさんは、人を思いどおりのどんなものにでもかえられるといううわさでした。とてもきびしく、こわい顔をしていたので、人々はおばあさんに近づくのをこわがっていました。

ある夏の日、おかのふもとの小さな女の子ふたりは、みんなをしあわせにするために何かしたいと思いました。

「そうだわ」とゴールデンヘアが言いました。「おかの上のおばあさんに聞きに行きましょう。とてもかしこい人だから、きっとどうすればいいか教えてくれるわ。」

「ええ、そうしましょう」とブルーアイズが言って、ふたりはすぐに出かけました。

あたたかい日で、おかのてっぺんまでは長い道のりでした。

女の子たちは、道にかげを作っているカシの木の下で、何回も休みました。

花は見つかりませんでしたが、カシの葉でかごを作り、かしこいおばあさんのために木の実をいっぱい入れました。

小川の魚にえさをやったり、リスや鳥とおしゃべりしたりしました。

ふたりは、石ころだらけの道をどんどん歩いていきました。

しばらくすると、日がしずみました。鳥たちは歌うのをやめました。

リスたちはねどこに入りました。

木々はねむりました。

風さえも休んでいました。

おかの上は、なんとしずかで、すずしかったことでしょう！

月と星が出てきました。

カエルとヒキガエルが目をさましました。

夜の音楽がはじまりました。

コガネムシとホタルは、パーティーへとんでいきました。

けれども、つかれた小さな子どもたちは、おかのてっぺんを目ざして、のぼりつづけました。

とうとう、ふたりはてっぺんに着きました。

門のところには、あのふしぎなおばあさんがいて、いつもよりもっときびしい顔をしていました。

女の子たちはこわくなりました。ふたりはぴったりよりそい、ゆうかんなゴールデンヘアが言いました。「あなたがかしこい人だと知っています。どうしたらみんなをしあわせにできるか、教えてもらいに来たのです。」

「どうか、わたしたちをいっしょにいさせてください」と、はずかしがりやのブルーアイズが言いました。

子どもたちのために門を開けたとき、かしこいおばあさんが月明かりの中でほほえむのが見えました。それからふたりの女の子が、おかのふもとで見られることは二度とありませんでした。次の朝、おかいちめんに、ゆれる美しい金色のアキノキリンソウとむらさきのアスターが、さいているのを人々は見ました。

ならんでさくこの二つの明るい花は、もし話す気になれば、あの夏の月夜にふたりの女の子がどうなったのか、そのひみつを教えてくれるだろうと言われています。

たんご と クイズ　アキノキリンソウとアスター

hill おか	**hut** 小屋	**basket** かご
berries 木の実（ベリー）	**squirrels** リス	**fireflies** ホタル
golden-rod アキノキリンソウ（ゴールデンロッド）	**asters** アスター	

Q1 女の子たちは、おばあさんに何を聞きに行った？

① 家に帰る道　② みんなをしあわせにするやり方　③ 花のそだて方

Q2 「どうか、いっしょにいさせて」と言ったのはだれ？

① ゴールデンヘア　② おばあさん　③ ブルーアイズ

Q3 次の朝、おかには何がさいていた？

① アキノキリンソウとアスター　② ヒマワリとバラ　③ サクラとウメ

こたえ

Q1 ②　ゴールデンヘアは「どうしたらみんなをしあわせにできるか、教えてもらいに来た」と言いました。

Q2 ③　はずかしがりやのブルーアイズが「どうか、わたしたちをいっしょにいさせてください」と言いました。

Q3 ①　金色のアキノキリンソウとむらさきのアスターが、おかいちめんにさいていました。

原田英語の多読ベストジュニア
本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。
haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #30800（Flora J. Cooke、1895年）。パブリックドメイン。
挿絵：(1895 edition)（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Linette Geisel（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。